

2023

3/15 水

5/14 日

開館時間 9:30~15:30

(入館は15:00まで)

休館日 月曜日、火曜日

(平日・祝日にかかわらず)

入館料 一般400円

大学生300円



アクセス

市バス停留所「百万遍」より徒歩約2分

京阪電車「出町柳駅」より徒歩約15分

※ 駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催：京都大学総合博物館

京都大学大学院文学研究科附属
文化遺産学・人文知連携センター

京都 白川の巨大土石流



埋もれた先史土砂炭層に誘われ

京都白川の巨大土石流

— 埋もれた先史土砂災害に学ぶ —

京都大学総合博物館の特別展「文化財発掘」は、京都大学の構内に所在する遺跡の調査・研究成果を紹介する企画です。過去8回は、文化財たる人工物や構造物、そしてそれらを生み出した昔の人びとに焦点を当ててきました。今年も、そうした人びとの暮らしを象徴させる災害的自然現象に注目します。

約二四〇〇年前の弥生時代、白川の巨大土石流が現在の京都大学構内の一帯を襲い、当時の水田が埋没しました。堆積物の解析によって、大雨によると思われる氾濫の後に、巨礫をともなった大量のマサ（花崗岩が風化した砂）の土石流が発生したことがわかっていますが、考古学的には一瞬の出来事でした。その中の巨礫は、千年以上後に一帯の開発が進む中でも時おり姿を見せ、開削道路で通行の妨げになっていたものもあれば、掘り出されて利用されたと思われるものもあります。

今回の展示では、大学の埋蔵文化財調査組織の利点を活かしたこの白川弥生土石流の性格に迫る研究の成果を紹介しながら、土石流の前後の社会の変化や、白川の土砂堆積物と京都の文化との関係にも目を向けます。想像もつかない大規模土石流が生活環境を一変させていたという自然の凄まじさと、知る由もなかった大昔の土砂災害痕跡が文化や暮らしの中に取り込まれていたという歴史の歩み。足もとの遺跡の調査成果を通してご確認下さい。



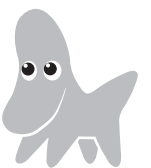
白川弥生土石流の発生前後の壺形土器
(上2点が発生の頃。下3点は発身後。)



発掘調査を悩ませた巨礫



北白川石仏



ぎょまくん

文化遺産学・人文知連携センター
京大文化遺産調査活用部門
マスコットキャラクター



京都大学総合博物館

<https://www.museum.kyoto-u.ac.jp/>

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL (075)753-3272 FAX (075)753-3277
info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

- ・以下の方々は入館無料(証明書類をご提示ください)
障害者手帳等(障害者手帳アプリを含む)をお持ちの方とその付き添いの方1名
70歳以上の方
京都府下の大学生
高等学校の生徒または18歳未満の方
中学校、小学校、特別支援学校等に在籍する学生・生徒・児童
京都大学学生・教職員
- ・新型コロナウイルス感染状況により、開館時間等が変更されることがあります。ご来館時には必ず当館ウェブサイトをご確認下さい。
- ・20名以上の団体(特別観覧を含む)でお越しの場合は事前予約(オンライン)をお願いいたします。
- ・混雑状況によってはご入館いただけない場合もありますので予めご了承下さい。